



みんなが主役の音楽の集い
～こども・夢・未来へ～ とは？

三重県で唯一、音楽療法士の資格を取得できる教育機関として、鈴鹿大学短期大学部では、こころや体の健康のために、音楽を役立てることができる人材の育成を行ってきました。

音楽が大好きなこどもはもちろん、ちょっと自信がない子、障がいがある子、どんな国の子ども、だれもが主役になれるステージを作りたいと願っています。

何か新しいことにチャレンジしたい、ステージで発表したい、音楽をもっとたくさんの人と分かち合いたい、誰かの役に立ちたい...いろいろな夢をもったこどもたちや高校生を応援しています。


伴奏や準備をするサポーターや、会場に足を運んでくれるお客様も、この集いの主役です。いろいろな人がつながる、楽しい集いにしたいと思います。ぜひご参加ください。
(担当教員:木村 有里)



当大学へのアクセス

最寄駅 伊勢鉄道 中瀬古駅から徒歩10分
近鉄千里駅(千里駅西バス停)からスクールバス6分
* 当日、近鉄千里駅よりスクールバスが運行します。時刻表はHPでご確認ください *


お申し込み・問い合わせ先

 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部
〒510-0298 鈴鹿市郡山町663-222
電話:059-372-2121
FAX:059-372-2827
URL: <http://www.suzuka-jc.ac.jp>
子育てイノベーションセンター
メール: kosodate@suzuka-jc.ac.jp

しゅやく
みんなが主役の
おんがく つと
音楽の集い
ゆめ みらい
～こども・夢・未来へ～

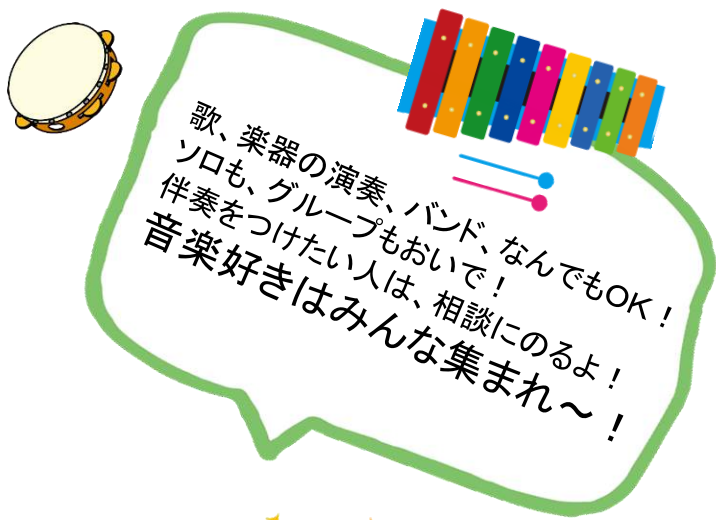


2018年2月11日(日・祝)
14:00~15:30
(13:30開場) ★入場無料★

 鈴鹿大学
鈴鹿大学短期大学部

主催:子育てイノベーションセンター
後援:三重県 鈴鹿市 三重県教育委員会
鈴鹿市教育委員会 津市教育委員会

みんなが主役の音楽の集い
～こども・夢・未来へ～
出演者&サポーター大募集！
(初心者・障がいのある人も大歓迎)



2018年2月11日(日・祝)

14:00～15:30

(13:30開場)

鈴鹿大学
こども教育学部
I棟 プレイルーム

入場無料!!

どなたでも入場いただけます



出演者&サポーター募集中!

☆出演者☆

- ・8組程度 (1名でも複数名でもOK)
 - ・小学生～高校生
 - ・演奏時間: 1組10分以内
- ※準備、片付けの時間を含める
※演奏順やプログラム内容はご相談の上、決定いたします。詳細はお問い合わせください。

☆サポーター☆

- ・10名程度
 - ・小学生5、6年生～高校生
- ☆音楽サポーター: 伴奏、演奏補助、
☆ステージサポーター: 舞台作り
☆運営サポーター: 受付、出演者のサポート

※出演者、サポーターの事前打ち合わせ、
リハーサルあり(日時・場所は個別に相談)

【申し込み方法】

FAXまたはEメールにて

- ①名前 ②年齢
 - ③連絡先(電話番号またはメールアドレス)
 - ④出演者かサポーターの希望
- 申し込み〆切: 12月15日(金)

FAX: 059-372-2827

Eメール: kosodate@suzuka-jc.ac.jp

お気軽にお問い合わせください(担当: 木村)

鈴鹿大学/鈴鹿大学短期大学部
子育てイノベーションセンター

子育てイノベーションセンター長 梅原 頼子
(鈴鹿大学短期大学部 学科長)

【設置の経緯と目的】

三重県は「みえ次世代育成応援ネットワーク」が10周年を迎えるなど、他県に先がけて、子育てに力を入れています。

子育てイノベーションセンターの設置は、本学が平成28年度高等教育魅力向上補助事業として、「地域ぐるみ事業による子育ての魅力がミエる県づくりプロジェクト」を提案したことに始まります。このプロジェクトは三重県から採択され、2016年度からさまざまな企画がスタートしました。

このプロジェクトは、「地域ぐるみで子育ての魅力再発見する」をコンセプトに「三重の子が三重で育ち三重で生活する」支援のため、①三重県内で子育て・子育てにかかわる人材育成・創出し、②三重県内の地域別ニーズに合わせた子育て・子育て支援のため地域連携型システムを構築し関連ジョブを創出する、ということを実施するものです。

高大接続事業を展開し、三重県内の高等学校に通っている生徒の中から、子育て・子育て業にかかわる意欲あふれる人材を発掘し、実践力を有した子育て・保育人材を育成します。また、本学のビジネス・イノベーション研究センターと連携し、多様なニーズに対応する子育て・子育て関連ジョブの創出・サポートサービスを行います。

健康・食・多文化共生・起業など本学が有する研究・教育資源を活用して、地域における多様な子育て・子育て支援ニーズに対応できる質の充実を目指しています。